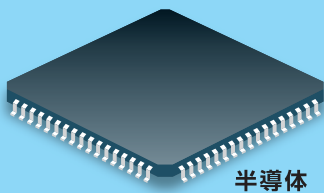


# 身近なところに東京エレクトロン

東京エレクトロン(TEL™)の技術は、お客さまの製品を通して、エレクトロニクス製品の高性能化、省エネルギー化、環境問題の解決に貢献しています。お客さまである半導体・FPD・太陽光パネルメーカーがつくった製品は、世界中のあらゆるエレクトロニクス製品に組み込まれています。

## TELの装置で作られた半導体が組み込まれています



パソコン、携帯電話など、デジタル製品の基幹部品である半導体。その生産に不可欠な半導体製造装置を幅広く取り揃え、世界の半導体メーカーに、優れた技術サポートとともに提供しています。高い生産性を備え、多様な顧客ニーズに応える東京エレクトロンの製品と技術は、ますます高度になる半導体製造の要となる存在です。



お客さまである半導体・FPD・太陽光パネルメーカーが作ったCPU、メモリー、液晶画面などの基幹部品は、世界中のあらゆるエレクトロニクス製品に組み込まれ、その飛躍的な高性能化および省エネルギー化により人々の暮らしを豊かにします。

東京エレクトロン

製造装置  
を納入

半導体・FPD・  
太陽光パネルメーカー

基幹部品  
を製造

最終メーカー

## CONTENTS

身近なところに東京エレクトロン／目次	p. 2
編集方針	p. 3
トップコミットメント	p. 4

### Highlight

東京エレクトロンの企業理念体系	p. 6
新たなステージへ	
新規事業開発と既存事業の強化	p. 8
環境目標の進捗と成果	p. 10

### Governance

コーポレート・ガバナンス／内部統制	p. 12
-------------------	-------

### Society

株主・投資家の皆さまとのかかわり	p. 14
ステークホルダーとのコミュニケーション	p. 15

社員とともに	p. 16
安全・健康への取り組み	p. 18
品質管理における取り組み	p. 20
調達に関する取り組み	p. 21

### Environment

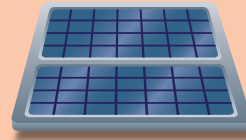
環境マネジメント	p. 22
生物多様性に対する取り組み	p. 23
製品と物流における環境への取り組み	p. 24
事業所における環境への取り組み	p. 28

### Community

地域との共生	p. 32
第三者所見	p. 36
第三者所見を受けて／会社概要	p. 37



### TELの装置で作られた太陽光パネルが使われています



太陽光パネル

再生可能エネルギーの代表と言えるのが、太陽エネルギーを利用した太陽光発電です。東京エレクトロンは、技術で環境問題に取り組む、を方針としており、新規事業である太陽光パネル製造装置の製造・開発を進めています。

### TELの装置で作られたFPDが使われています



FPD(フラットパネルディスプレイ)

美しく鮮やかな映像を映し出すパソコンや液晶テレビのディスプレイ。その生産に欠かせないFPD製造装置を、確かな技術サポートとともに液晶パネルメーカーに提供しています。お客さまの高品質と低コストを求める声に、東京エレクトロンは優れた製品と技術でお応えしていきます。

東京エレクトロンはさまざまな形で皆さまの生活をささえています。



最終製品  
を供給

#### 編集方針

本報告書では、創立50周年を迎えるにあたり新たに制定した基本理念と改定した経営理念、そして明文化したCSR方針に基づく具体的な活動状況を報告しています。

今年度は、環境負荷を積極的に軽減しながら、さらなるグローバル展開と技術革新を推進する当社グループの戦略的な取り組みを多面的に理解していただくことを目的として構成しています。

また、色覚の個人差を問わずより多くの方に見やすい表示を心がけ、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構からの認証(CUD: カラーユニバーサルデザイン)を取得しました。

本報告書を通して、当社グループとかわるすべての方々とのコミュニケーションをさらに充実させ、より良い活動を目指してまいります。皆さまからの忌憚のないご意見、ご感想を差し込みのアンケート用紙をご利用の上、お寄せいただければ幸いです。

 <http://www.tel.co.jp/environment/ehsreport/index.htm>

※本ページ掲載写真の人物モデルは東京エレクトロン(株)の社員です。

#### 対象範囲

東京エレクトロングループ  
(東京エレクトロンおよび国内・海外の子会社)

#### 対象期間

2012年度(2012年4月1日~2013年3月31日)を基本としていますが、一部2013年度の取り組みも含まれます。

#### 発行時期

報告書発行: 2013年9月  
次回発行予定: 2014年9月  
前回発行: 2012年9月

#### 参考にしたガイドライン

環境省: 環境報告ガイドライン(2013年版)  
GRI (Global Reporting Initiative):  
サステナビリティ・レポートガイドライン第3.1版